

市民の笑顔をおとどけします

4/9

細川令子さん 県伝統文化 継承者表彰の受賞を市長報告



陶芸家の細川令子さんが、県伝統文化継承者表彰で、伝統工芸（陶芸）分野の功績者表彰を受け、市長へ喜びを報告しました。

細川さんは、神奈川県鎌倉市から本市へ移住。青白磁を中心にシンプルで曲線にこだわった作品を制作してきました。つやを抑えた「霞白磁（かすみはくじ）」は、ベージュから白へのグラデーションのある微妙な色合いを特徴としています。

細川さんが「この地でやってきたことが認められた気持ち」と受賞の喜びを語ると、市長から「これからも地元若者のためにも頑張ってもらいたい」とエールが送られました。



1. 作品を前に受賞の喜びを語る細川さん
2. 県伝統文化継承者表彰の賞状を手に記念撮影

4/13

みぎ・ひだり・みぎ 手を挙げて横断歩道を渡ります



濃南こども園で、園児に横断歩道の安全な渡り方を学んでもらおうと、交通教室が行われました。教室にはこども園の5歳児10人が参加。多治見警察署の署員から、信号機の色の意味や、道路を渡る時は手を挙げて運転手に気づいてもらうこと、青信号でも「右、左、右」と左右を確認することなど、安全な渡り方が優しく語り掛けられると、園児は、「ハイ」と元気よく返事をしていました。説明を

1. 交通安全指導員に見守られながら模擬横断歩道を渡る園児
2. こあんとと記念撮影
3. ミニ白バイに乗って「けいれい」



受けた後、園児は、交通安全指導員に見守られながら模擬の信号と横断歩道を使い一人ずつ渡り方を訓練。教えられたとおり、しっかり信号と左右の安全を確認して渡ることができました。

教室の後、園児は交通安全協会のマスコットキャラクター「こあんと」との記念撮影やミニ白バイの体験試乗などを体験し、楽しく交通安全を学びました。

4/14

2020東京オリンピックの聖火トーチ 市役所で展示



市民唯一の東京オリンピック2020聖火ランナーとして聖火をリレーした加納智子さんから、リレーで使用したトーチとジャージを預かり、市役所に展示しました。加納さんは、「日本で開催されるオリンピックを身近に感じてほしい」「少しでも市民を元気づけたい」との思いから展示の申し出をしてくれました。

市役所多目的スペースで開催された貸与式で加納さんは、「当日は緊張したが、



1. リレーのジャージ姿で市長にトーチを渡す加納さん
2. 桜の花びらを模した聖火トーチ
3. 展示を楽しむ市民

本番では楽しさがあふれんばかりだった。コロナ禍でもみんなの不安を忘れさせようと笑顔を振りまいて走った」とリレーの思い出を披露しました。

預かったトーチとジャージは市役所総合受付に2週間展示され、来庁者を楽しませていました。

4/20

土岐市・多治見市・瑞浪市 一般廃棄物処理に関する相互支援協定を締結



災害ゴミや処理施設の故障等に備え、一般廃棄物を円滑に処理することを目的に、土岐市、多治見市、瑞浪市の3市による相互支援協定の締結式が市役所で行われました。

この協定は、地震や台風などの災害により大量発生する災害ごみや施設の故障、改修など、深刻な影響が生じた場合でも円滑にごみを処理することができるよう、3市が相互に支援するため、



1. 協定書に署名する3市の市長
2. 協定書を手記念撮影する3市の市長

基本的な事項を定めるもので、協定書に署名した3市の市長は、緊急事態に備え、緊密な連携と情報交換を積極的に進めることを約束しました。市長からは、「これまで協力し合う体制はあったが、協定によっていざというときの対応が明確になった」とその意義が語られました。